

第14回地下環境水文学に関する研究集会(in東京)開催案内

環境問題に役立つ水文学の視点で地下水理学・水文学の現状を整理し、土壌・地下水汚染などの地下環境問題解決に役立つ研究の推進を目的とした研究集会を2013年度も下記の通りに実施いたします。地下環境問題の解決には、地下水理学・水文学だけでなく、地質学、土壌化学、微生物学、化学工学、公衆衛生学など多くの専門分野の知識を必要とします。地下環境水文学の今後の方向性および地下環境問題について議論する場を設けます。奮ってご参加ください。

記

◆ 主催：(社)土木学会水工学委員会水文部会（地下環境水文学研究グループ担当）

◆ 日時：2013年10月5日(土)14:30~18:00 および 10月6日(日)9:30~12:00

◆ 会場：キャンパスイノベーションセンター東京 (<http://www.cictokyo.jp/>)
5階501リエゾンコーナー

◆ 参加費：懇親会費の実費（参加の場合）、懇親会は10/5の夕方、会場周辺のお店にて

◆ 参加申し込み方法：

氏名、所属、電話番号、e-mailアドレスを中川まで、メールにてお申し込み下さい。宿泊は各自で手配願います。

◆ プログラム：下線は発表者

10月5日(土)

14:30 集 合
14:30~18:00 研究発表

第一部-環境動態

- ・石塚正秀（香川大）・西原英治（鳥取大）：
モンゴルゴビ砂漠における地表面クラスト形成の予備実験
- ・齋藤雅彦（神戸大）：不飽和地盤内の巨視的分散長の性質について
（休 憩）

第二部-地下水・土壌汚染

- ・葉 堅・二出川裕香・榊原 豊（早稲田大）：In-situ Denitrification Process with Continuous Injection of Electrolytic Hydrogen and Oxygen
- ・丸山裕嗣・江種伸之・平田健正(和歌山大)・川本克也(国立環境研)：
岩手・青森県境の不法投棄現場における土壌地下水汚染浄化対策の効果
- ・日野良太(和歌山大, 現：大林組)・江種伸之(和歌山大)・石塚正秀(香川大)・平田健正(和歌山大)：
紀の川の栄養塩類濃度に及ぼす要因分析
(時間的に余裕があれば第三部を初日に組み込む可能性もあります)

18:30頃~ CICの周辺で懇親会

10月6日(日)

09:30~12:00 研究発表

第三部-地域の地下水環境

- ・中川 啓（長崎大）：宮城県南三陸町における地下水・河川水・土壌調査
- ・鷺見哲也（大同大）：岩手県大槌町自噴井一斉調査
- ・手計太一・北 隆平（富山県大）：越中黒部清水の里が塩水化している？
- ・フリーディスカッション：福島地下水問題、震災復興に向けた地下水利用

12:30 解 散

◆ 問い合わせ&申し込み先：

中川 啓 長崎大学 水産・環境科学総合研究科（852-8521長崎市文教町1-14）
TEL&FAX:095-819-2763, e-mail: kei-naka@nagasaki-u.ac.jp

地下環境水文学研究グループHP http://www.geocities.jp/kei_nakagawajp/gwh-index.html